

1

障害福祉研究部の清野です。よろしくお願いします。

今回、障害者ファッション、障害に配慮した衣服についての研究を紹介します。

2

はじめに、

身体に障害のある方には、体型が変わったり運動機能が低くなることもあり、障害に配慮した衣服が必要です。また、着たい衣服を着ることも大切です。

そこで、当センターでは、障害のある方のニーズや好みに合った衣服を開発し、衣服の課題を知ってもらい、着たい服がどこでも手に入る環境の実現を目指して、多くの方と連携して「国リハコレクション」という取組を行っています。今回はその中で開発した衣服を紹介します。

3

これは車いすの方のためのおしりにやさしいジーンズです。

4

工夫として、お尻の部分をやわらかい生地に変えたり、ファスナーをマジックテープに変えて、はきやすくしています。

5

これは車いすの方が雨の日に外出するためのレインコートです。

6

工夫として、前が見えやすいように顔の部分を透明のビニール製にしたり、すそが車輪にからまないように調整したりしています。

7

国リハコレクションでは、来場者にアンケートにご協力いただいて衣服の困りごとや要望についての研究を行っています。

これらを参考に、私たちは障害のある方の社会参加の促進のため、今後も障害に配慮した衣服の研究について取り組んでいく予定です。ご清聴ありがとうございました。